

親和自治会会員の皆様

## 「親和自治会 防災訓練」を終わって

2026年3月2日  
防災部長 大村 賢

3月1日（日）2025年度「親和自治会 防災訓練」が“石山医院駐車場”で実施されました。気温の変化が激しい季節、大変暖かい天候の中での開催となりました。

本年も多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

参加総数 35名（自治会以外の方なども含む）、安否確認率（無事旗掲示世帯の比率）は約 66%でした。

訓練参加者、安否確認率の最近の推移は、2023年度（35名、75%）→ 2024年度（27名、60%）→ 2025年度（35名、66%）であり、防災への関心が低迷気味の印象もありますが、『防災は“凡事の徹底”』です。引き続き継続をお願いします。

本年も場所を提供して頂いた「石山医院」様に深く感謝いたします。また、訓練の実施内容については北多摩西部消防署地域防災課よりアドバイス・提案頂くと共に、当日は総勢 7 名の方にご協力頂きました。心より感謝申し上げます。

さらに、訓練の事前準備、当日の準備等にご協力いただいた、各組の防災担当、組長のみなさんに深く感謝します。

以下に当日の訓練の概要と実施中の様子を掲載します。当日の臨場感を感じていただければと思います。

最後に、今回の防災訓練に対するご感想・ご意見や今後のご要望などを記載頂けると大変助かります。

### 1. 防災訓練の概要

■ 安否確認訓練 : 昨年まで防災担当だけで実施しましたが、実際に被災した場合は、防災担当不在が想定されます。誰でも安否確認の役割を担って頂ける様に参加者全員での確認訓練としました。

■ 基礎訓練 : AED・心肺蘇生訓練（定期的に体で覚える）

: 車いす操作訓練（傾斜、でこぼこ路面での操作を体験）

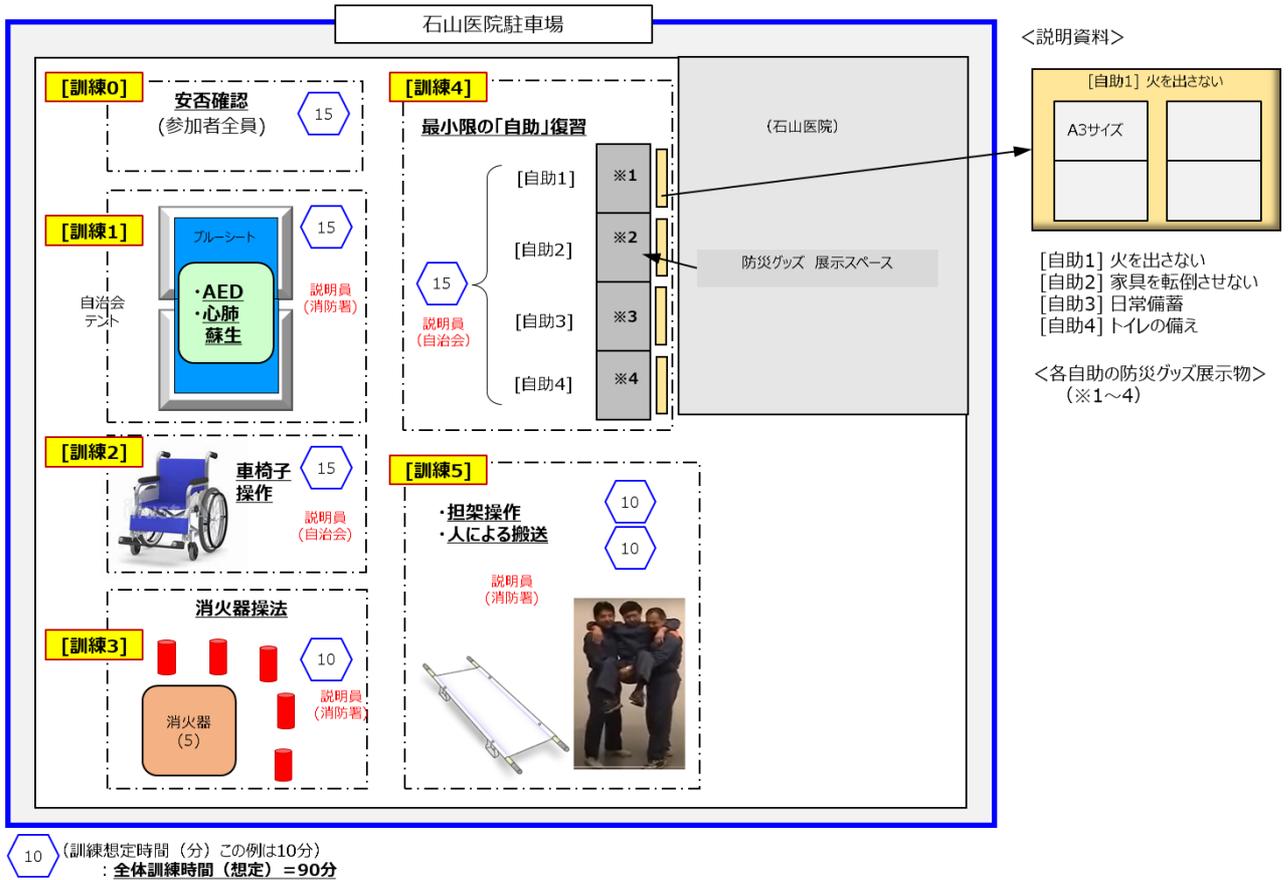
: 消火器操作訓練（消火器のピンを抜く勇気を思い出す）

: 最小限の「自助」活動を再認識

## 2. 当日の様子

### 【防災訓練の配置図】

#### 2025年度 防災訓練レイアウト



### 【防災訓練の様子】

(個人情報保護規約に則って掲載しています)



#### 〈訓練1〉 AED 操作、心肺蘇生

AED 使用の際実施する「心肺蘇生」

- ① 膝を体に近づけ、両膝立ちの姿勢をとる
- ② 胸部の下半分に片方の手のひらの手首に近い部分を当て、その上にもう一方の手のひらを重ねる
- ③ 肘を伸ばし、胸骨を 100 回/分の速さで圧迫する



## <訓練 2> 車いす操作



(上がり方)



段差

(下がり方)



スロープ



写真はありませんが、スロープでの操作訓練もありました。

## <訓練 3> 消火器操作



## <訓練 4> 最小限の「自助」復習



[自助 3] 日常備蓄



- [自助 1] 火を出さない
- [自助 2] 家具を転倒させない
- [自助 3] 日常備蓄
- [自助 4] トイレの備え



[自助 4] トイレの備え



## <訓練 5> 担架操作



消防署の方は、救急車と消防車でいらっしゃいました。  
防災訓練中に何かあれば緊急出動できる体制です。  
昨年度は、訓練途中で3名の方が会場から緊急出動されました。



消防車の重量は8トン  
段差が破損する恐れがあり、消防署の方が移動されました。  
その際の操作が大変手際よく、「さすが！」でした。

# 親和自治会 近隣AED設置場所

2026.3.13

